

〔課題名〕 台湾・韓国における農業生産資材流通等実態調査

〔報告書No.〕 75

〔研究年度〕 平成7年度

〔研究者〕 天間 征

1. 目 的

わが国農業が、農産物の産地間競争の激化と農産物価格の一層の低下が予想される中、北海道農業が安定的な生産体制を図っていくためには、農産物の品質向上とコストの削減が不可欠となる。低コスト化を図っていくには、コストの大部分を占める農業生産資材費を削減することにある。そこで本研究では、わが国と同様に生産資材の原料を輸入し、自国内で生産・流通させている隣国の韓国及び台湾における肥料と配合飼料の生産から流通の実態及び資材に関する制度や今後の取り組みについて調査する依頼を北海道庁から受けて調査を着手した。

いままで生産資材価格の内外価格差の比較を調査した事例は欧州や米国に多い。一方、台湾と韓国についてはわが国と同様の東アジアに属し、家族経営主体の農業を展開し農業用生産資材も輸入に依存していることからわが国と似た条件である。このことから台湾と韓国の製造・流通構造を調査することは、今後のわが国農業にとって有意義なことである。

本研究では両国を対象に、2つの課題を設定した。一つは肥料及び家畜用飼料の生産及び流通の実態解明、二つはわが国との比較とコスト低減に向けた必要な措置の提言である。

2. 方 法

台湾と韓国における農業生産資材の流通の実態調査を行った。台湾では行政院農業委員会農産科(肥料)、台湾飼料協会、台湾政府農林庁、養豚農家、耕種農家、生産者団体を、韓国では農林水産部農業機械資材課、農林水産部畜産経営課、農協中央会肥料課、肥料メーカー2社、韓国肥料工業協会、畜産農協中央会飼料部、酪農家、飼料メーカー2社、韓国飼料協会を対象にヒヤリングを行った。

3. 成 果

1) 台湾の肥料流通

台湾における肥料は国産が中心であり、北海道の価格は台湾と比較して、硫安で1.6倍、珪酸石灰で3倍、高度化成で2.3倍程度であった。この要因を探ると、一つは銘柄数が複合肥料でわずか7種類、有機質肥料で3種類とわが国と比較して非常に少なく、政府出資の台湾肥料公司を中心に少数銘柄の効率的な生産が行われていること。二つは流通が作物ごとに異なり、農会の関与が大きく、その価格は政府が肥料会社と協議し、低く設定していて、農会から農業者までに肥料輸送費は政府が補助していること。

2) 台湾の飼料流通

飼料価格はわが国と比較して、配合飼料で約2割、自家配合で2.5割から3割程度安価であった。この要因を探ると、一つは配合飼料の銘柄数が畜種ごとに3種類と非常に少なく、効率的な飼料生産が行われていること。二つは農家段階で自家配合が大規模に行われている中で、自家配合農家は原料購入、配合飼料購入農家は飼料購入にあたって、他社との入札などの競争条件を積極的に導入していること。三つは運転資金の融通に関して、一般の金融機関を利用し、飼料の決済についても量やサイト、支払い方法について価格が異なるなど農家が価格に敏感なこと。四つは港湾サイロの回転数が非常に高く、配送経費も比較的安価であることが考えられる。

3) 韓国の肥料流通

韓国における肥料は国産が中心で、わが国の肥料価格は韓国と比較して単肥で1.6倍、化成肥料で2.5倍程度と韓国の方が安価であった。この要因は、銘柄数が全国で78と少なく、上位10銘柄で生産の97%を、主要2銘柄で国内消費量の62%を占めているなど、主要銘柄への生産の集中化が進んでいること。また、韓国の肥料生産量の55%を占めている政府出資企業のメーカーは生産能力も200万tと最大で、操業率も128%と高く、効率的な生産が行われている。

4) 韓国の飼料流通

韓国の飼料価格はわが国と比較して、わが国が韓国の1.6から1.8倍程度の高さである。この要因を探ると、一つはとうもろこしなどの輸入穀物価格が高騰すると、規格外小麦などの安い原料を他国から大量にスポット買いするなど、原料調達を柔軟に行っていること。二つは飼料の銘柄数が80程度とわが国と比較して少なく、工場の操業率もわが国の140%に比較して、180%と高かったことが考えられる。

以上2カ国の調査からのインプリケーションとして、一つは農協や農家段階における飼料購入の際の入札や見積もり合わせの実施などによる競争条件の積極的な導入。二つは生産者や農協段階における生産資材の利用銘柄の絞込みと行政における技術的な支援。三つは肥料や飼料の取引ロットの拡大と共同化などによる自家配合の実施。四つは台湾でとうもろこしなどの加熱圧ペンを不用としていたり、韓国で規格外小麦を飼料原料として適切に活用できるなど、生産資材に拘わる法・規制の緩和。五つは生産資材価格に関する情報の積極的な公開などが調査結果から得られた。

4. キー・ワード

農業生産資材コストの削減、規制緩和、競争条件の導入、肥料・飼料の銘柄の絞込み